

防災ネットあんあんがスマートフォンアプリに変わります

● 問合せ 防災危機管理課防災危機管理係 (☎ 23-2130)

メール配信からスマートフォンアプリに変わり、より簡単に、より見やすく、『佐賀県防災・緊急マップ』を新たに追加し、進化した『防災ネットあんあん』となります。

スマートフォンアプリの配信開始と同時に、現行のメール配信サービスは終了します。

4月3日(月)
午前10時
配信開始

アプリをダウンロードして、
安全・安心を手に入れましょう！

『防災ネットあんあん』で検索するか、QRコードを読み込んで、ダウンロードしてください。

▷ iPhone を利用の人

▷ Android を利用の人



※現在、メール配信に登録している人も、スマートフォンアプリの登録が必要です。

防災ネットあんあん

佐賀県が防災・安全・安心に関する情報を配信するシステムで、市からの情報（避難情報など）のほか、気象情報や防犯情報などさまざまな情報を受け取ることができます。

※ Apple、Apple のロゴ、iPhone は、Apple Inc. の商標です。iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。Google Play および Google Play ロゴ、Android は、Google LLC の商標です。QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

『わがまち・わが家の防災マップ』を活用しましょう

● 問合せ

防災危機管理課防災危機管理係
(☎ 23-2130)

近年の災害の激甚化を受け、国や県河川、ダム下流河川における洪水浸水想定区域の見直しなど、危険区域が変更や追加となったことから、『わがまち・わが家の防災マップ』を更新し、全世帯にマップを配付しました。

防災マップは、1枚の地図上に土砂災害危険区域や河川・津波の浸水想定区域を表示しているほか、各行政区で設定した避難場所や避難経路、地元が把握している危険箇所、過去に発生した浸水の実績などの情報を表示した、それぞれの地域の実情に応じたものになっています。

日頃からこの防災マップを使って、自宅周辺や通勤・通学経路などにある危険区域、いざという時の避難場所などを確認し、災害に備えておきましょう。



↑市ホームページ



地図情報サービス『いまりんマップ』のサイトをオープン

● 問合せ 情報政策課業務デジタル推進室
(☎ 23-4313)

インターネット上で、市内のさまざまな地図情報を閲覧できるサイト『いまりんマップ』をオープンしました。

4月1日(土) 公開

いまりんマップ

これまで紙や画像でしか見られなかったものが、詳しい地図情報として見るできるようになります。

公共施設などの検索や地図上の距離・面積が計測でき、印刷機能もあります。

- 公開情報 公共施設案内図やハザードマップ、道路情報、河川情報など
- 閲覧方法 スマートフォンやパソコンから閲覧できます。
▷ 2次元コード（QRコード）を読み取る

QRコードはこちら→



▷市ホームページのトップページにあるバナーをクリック

バナーイメージ→



▷『いまりんマップ』で検索

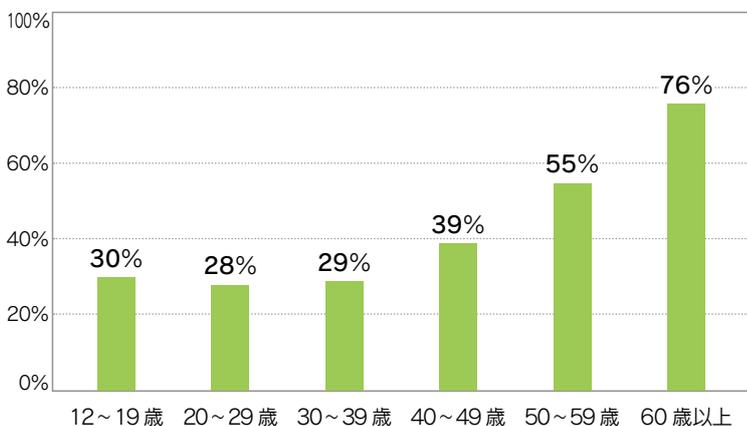
新型コロナウイルスワクチン接種

● 問合せ 新型コロナウイルスワクチン接種対策室 (☎ 23-4122)

市では、国の指示のもと、新型コロナウイルスワクチンの追加接種を実施しています。

12歳以上の人の追加接種では、ファイザー社製とモデルナ社製の2種類のうちいずれかのオミクロン株対応ワクチンを使用しています。

市内のオミクロン株対応ワクチンの接種状況



※3月15日接種済までで集計

※令和5年1月1日の人口をもとに集計

ワクチン接種を検討してください

新型コロナウイルスワクチンは、感染や重症化を予防する高い効果が認められています。ワクチンの接種は、皆さん自身を守るだけでなく、家族や友人、高齢者など大切な人を守ることもつながります。

感染しない、感染させないためにも、ワクチン接種を検討してください。

接種を希望する人は、早めの予約・接種をお願いします。

接種間隔やワクチンを変更して小児の追加接種を実施します

小児(5~11歳)の追加接種(3・4回目接種)の接種間隔が、『3か月』に短縮されました。初回接種(1・2回目接種)から3か月が経過していて、3回目の接種券を持っていない人には、3月下旬から、接種券を順次発送しています。

4月1日(土)から、小児の4回目接種を開始します。3回目接種から3か月が経過した人には、3月下旬から、接種券を順次発送しています。

小児の追加接種に使用するワクチンは、4月1日から、ファイザー社製の小児用オミクロン株対応ワクチンに切り替えます。



国民健康保険『人間ドック・脳ドック検診』

日帰り人間ドック・脳ドックの受診費用を助成します。通常の半額程度の負担で受診できますので、利用してください。

● 申込・問合せ

市民課年金保険係

(☎) 23-2153

● 受付開始日 5月8日(月)

● 対象

国民健康保険加入者で、次すべてに該当する人

※入院療養中の人は除きます。

▽受診時に40歳以上74歳以下の人

▽国民健康保険税の滞納がない人

▽4月以降に人間ドック・脳ドック・特定健診を受診していない人

● 申込方法

市役所に来庁して、手続きしてください。

※人数制限があります。

※電話での申し込みはできません。

● 持参するもの

▽国民健康保険被保険者証

▽マイナンバーカードや運転免許証などの顔写真が付いた公的身分証明書

● 注意事項

▽必ず特定健診と一緒に受診してください。

	人間ドック	脳ドック
自己負担額	11,170円	12,190円
実施医療機関	西田病院(山代町)、山元記念病院(二里町)、伊万里有田共立病院(有田町)、松浦中央病院(松浦市)	西田病院(山代町)、山元記念病院(二里町)、伊万里有田共立病院(有田町)
検査項目	血液検査、尿検査、心電図など15項目	頭部MRI、血液検査、尿検査など11項目

松浦健康増進施設の供用を開始します

● 問合せ 佐賀県西部広域環境組合 (☎ 26 - 2353)

佐賀県西部広域環境組合とさが西部クリーンセンター対策協議会で締結した『地域振興策協定』に基づき建設した松浦健康増進施設が、松浦コミュニティセンターの隣りに完成しました。供用開始は4月1日です。

トレーニングやスポーツができ、子どもたちが遊べる施設です。多くの人々の利用をお願いします。

【施設の概要】

- トレーニングルーム トレーニングマシンなど3台
- スポーツ室 バasketボールの3on 3ができる広さ
- キッズスペース 大型遊具を設置
- 休憩室 和室（カラオケを設置）と洋室
- その他 事務室、トイレ、シャワー室
- 利用時間
 - ▷ 平日 午後1時～8時
 - ▷ 土・日曜日、祝日 午前9時～午後8時
- 定休日 火曜日、12月29日～1月3日
- 使用料
 - ▷ 大人 1回当たり 100円
 - ▷ 高校生以下 1回当たり 50円

松浦健康増進施設



リサイクルセンター 回収品目の変更

各地区で取り組むリサイクルセンターの回収品目《紙類・缶類・瓶類》のうち、瓶類の取り扱いが変わります。

● 変更点

緑色の一升瓶が、回収の対象外となります。

● 変更日

4月の回収分から

● 回収対象となる瓶類

▽ ビール瓶

▽ 茶色の一升瓶

※ 回収の対象外となる緑色の一升瓶や5合瓶、透明の瓶などは、市指定のごみ袋（赤文字）で出してください。

● 問合せ先

環境政策課リサイクル推進係

(☎ 23 - 2145)

パブリックコメントの結果

『伊万里市景観計画』(案)と『伊万里市景観条例』(案)に対する意見募集の結果、意見の提出はありませんでした。

● 問合せ先

都市政策課都市計画係

(☎ 23 - 2476)



川内野産



共同出荷用の野菜が
たくさん

20代女子が

限界集落川内野に移住してみた



地域おこし協力隊活動レポート⑤

こんにちは、相木ギタウ菜月です！
この冬は大寒波でしたね…。川内野の冬の寒さは、格別でした。シャワーを浴びようとして、蛇口から何も出てこなかったときは、さすがに体が凍りそうでした。

そんな冬も終わりを迎え、川内野はぼかぼか、そして野菜の量も少しずつ増えてきました。

昨年4月22日に始めた川内野産野菜の共同出荷。ついに、総利益が100万円を超え、その勢いはとどまらず、さらに売り上げを伸ばしています！

今まで、川内野にこんな大金が眠っていたとは…。地域の人の協力で、そのすさまじい体力で、畑仕事を毎日こなしている結果が、目に見える成果となりました。

2年目に入る共同出荷。さらに地域の人たちの畑仕事をする活力を高め、多くの人においしい野菜を届けるために進化していきます！

株式会社奈雅井が市に1000万円を寄付

2月14日、港湾運送をはじめとする海事関係事業を展開する株式会社奈雅井（山代町）が、市に1000万円を寄付しました。同社が伊万里港振興のために寄付したのは、平成31年、令和3年に続き、今回で3回目となります。

深浦弘信市長が感謝状を贈呈し、受け取った代表取締役社長の今泉清美さんは、「コンテナ貨物の取り扱い量を増やして、伊万里港のさらなる発展に、官民一体となって取り

組んでいきたい」と決意を述べました。



↑感謝状を受け取った今泉社長（右）と専務取締役の草野浩輔さん（左）

前田教一さんが市に1000万円を寄付

2月22日、前田教一さん（南波多町笠樵）が、教育の充



↑深浦市長に目録を贈呈する前田さん（右）

実に消防・救急業務の拡充をはじめとするまちづくりで役立ててほしいと、市に1000万円を寄付しました。前田さんは、令和元年から毎年寄付していて、今回で5回目になります。

深浦弘信市長が感謝状を贈呈し、受け取った前田さんは、「これまで多くの人に恵まれてきた。その感謝の気持ちを形にした」と、寄付への思いを話しました。

伊万里・有田地区歯科医師会が歯ブラシを寄贈

2月24日、伊万里・有田地区歯科医師会が、3月に中学校を卒業した生徒と4月に小・中学校に入学する児童生徒用に、歯ブラシ1600本を市に寄贈しました。

これは、「家族みんなで歯みがき習慣」をテーマに、同会が取り組む歯と口の健康づくりキャンペーンの一環として贈られたものです。また、3月には、中学校を卒業した生徒を対象とした無料の歯科健診も実施されました。

贈呈式では、吉永信秀会長が「歯みがき習慣を確立してほしい」と伝えました。



↑吉永会長（右から1人目）と佐賀県歯科医師会の外元康浩理事（同3人目）

古伊万里ライオンズクラブが絵本を寄贈

2月25日、市民図書館の清掃など、地域の奉仕活動に取



↑11回目となる寄付の目録を松本定教育長（左）に贈呈する松尾会長

り組む古伊万里ライオンズクラブが、市民図書館に絵本を80冊寄贈しました。

同団体が平成25年に図書を寄贈したのをきっかけに、市民図書館内に『いまりっ子文庫』コーナーを設け、親子が集い、くつろぐ場として活用しています。この日結成20年を迎えた団体の松尾清会長は、「子どもたちに、たくさん本を読んでほしい」と、寄贈に託す思いを述べました。

ご寄付

ありがとうございます。次の方からご寄付をいただきました。

厚くお礼申し上げます。

※2月1日～28日受付分

（敬称略、希望者のみ掲載）

▼著書『市長雑感』、『川柳こぼれ話し』各3冊
塚部 芳和

（立花台三丁目）

▼防護服 500枚
布マスク 2598枚
有限会社あいふる

（唐津市）

▼歯ブラシ 1600本
伊万里・有田地区歯科医師会

▼絵本 80冊（10万円相当）
古伊万里ライオンズクラブ

《まちづくり基金》
▼1000万円

株式会社奈雅井（山代町）

《まちづくり基金・
教育振興奨励基金》

▼1000万円
前田 教一

（南波多町笠樵）

▼は篤志寄付です。

3市町広域連携企画!

有田町・伊万里市・武雄市の
イベントをお届け!

有田町

第119回 有田国際陶磁展

期間/4月29日(土・祝)~5月7日(日)

会場/佐賀県立九州陶磁文化館
佐賀県陶磁器工業協同組合内容/日本で最も歴史のある陶磁器の公募展。
質の高い多様な作品の競演をぜひご覧ください。

詳しくは



▲ホームページ

有田国際陶磁展事務局
☎0955-46-2500

伊万里市

竹の古場公園 つつじ祭り

日時/5月5日(金・祝) 10:00~15:00

場所/玄海国定公園 竹の古場公園
(東山代町滝川内1690)内容/約1万本のつつじが咲き誇るなか、ビンゴ
ゲームやカラオケ大会などのイベントを開催。
展望台からの眺めは絶景です。

詳しくは



▲市ホームページ

シティプロモーション
推進課
☎0955-20-9031

武雄市

ビーコロ2023×錯視展 それでも脳は騙される...

期間/5月7日(日)まで

開館時間/(平日)9:15~17:15
(土日祝・4/29~5/5)9:15~18:00

会場/佐賀県立宇宙科学館 ゆめざんが

内容/50点を超える錯視の展示で、脳が騙される不
思議な感覚と、思いがけないビー玉の動きに
よる物理の法則をお楽しみください。

詳しくは



▲ホームページ

佐賀県立宇宙科学館
☎0954-20-1666

九州労働金庫伊万里支店がホイッスル寄贈

3月7日、九州労働金庫伊万里支店(新天町)が、4月に小学校に入学する児童用に、反射ホイッスル500個を市に寄贈しました。

これは、未来を担う子どもたちの安全を守り、育成を支援するために、九州労働金庫が展開している『こども110番の店』の取り組みの一環として、昨年に引き続き贈られたものです。

市役所を訪れて、松本定教育長にホイッスルを手渡した伊万里支店長の正司直人さんは、



↑正司支店長(左)から松本教育長にホイッスルを贈呈

「反射材で交通事故の防止、ホイッスルで防犯につなげて、子どもたちの安全のために役立ててほしい」と話しました。

光化学オキシダント・PM2.5
大気汚染物質に注意しましょう

光化学オキシダント

光化学オキシダントとは、自動車の排気ガスや工場の煙に含まれる大気汚染物質が、太陽の紫外線を受けて化学反応を起こすことで発生する物質のことをいいます。

濃度が高くなると、目がチカチカする、のどが痛むなどの健康被害がみられることがあります。

PM2.5(微小粒子状物質)

PM2.5とは、粒径2.5μm(2.5ミリの千分の1)以下の粒子状物質です。

粒子の大きさが非常に小さく、肺の奥深くまで入りやすいため、喘息や気管支炎などの呼吸器系への影響のほか、肺がんリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。

注意報などが発令されたら外出を控え、屋外での激しい運動は自粛しましょう。

屋内では、換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。

佐賀県では、これらの物質の濃度が上昇した場合、スマートフォンアプリ『防災

ネットあんあん』で、注意報などの情報提供をします。素早く情報を入手することができまますので、登録をおすすめします。

※防災ネットあんあんの登録方法は、11ページに掲載しています。

※防災ネットあんあんで、『生活情報』の『光化学オキシダント・PM2.5情報』にチェックを入れてください。

PM2.5の情報については、NHK総合テレビのデータ放送でも見ることができます。

●問合先 環境政策課生活環境係 (☎23-2144)